

ユニクロ社によるデュクイ難民キャンプへの衣料品引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館
令和5年9月7日

令和5年9月6日、大森摂生駐ボツワナ日本国大使は、ユニクロ社より寄贈された衣料品のデュクイ難民キャンプへの引渡式に出席しました。本引渡式は、大森大使の他、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）関係者、ボツワナ政府の難民キャンプ事務所関係者、難民キャンプで生活する難民等、その他関係者の出席の下、ボツワナ北東部に位置するデュクイ難民キャンプ敷地内にて行われました。

ユニクロ（株式会社ファストリテーリング）は、2006年よりUNHCRとの協働を行っており、2011年からはアジアの企業として初めて、UNHCRとグローバルパートナーシップを締結しています。今回南部アフリカ地域を対象にユニクロより提供された衣料支援品は、総計約4万5千点におよび、ユニクロからUNHCR南アフリカ事務所に渡されたのち、南アフリカ、ナミビア、ボツワナ国内の衣料品を真に必要とする人々に対して配布されることになりました。ボツワナでは、UNHCRボツワナ事務所を通じて、デュクイ難民キャンプにユニクロからの衣料品約1万6千点が届けられました。

引渡式において、大森大使は、ユニクロによる世界各国の難民キャンプなどへの衣料支援について説明するとともに、UNHCRボツワナ事務所に対して、UNIQLOとの連携による衣料支援に感謝の意を述べました。また、難民キャンプにおけるボツワナ政府の様々な人道支援の取組について高く評価するとともに、今回寄贈された衣料品により、難民キャンプで生活する方たちの健康な生活が増進されることを望む旨、述べました。



スピーチをする大森大使



UNHCR ボツワナ事務所の保護官



衣料品引渡の様子



引渡式出席者



ユニクロからの寄贈衣料品



難民キャンプ倉庫の仕分けの様子